

## 令和7年度 第2回苫小牧市防犯のまちづくり懇話会開催結果

- 1 日 時 令和8年3月18日（水） 15：03から15：37まで
- 2 場 所 苫小牧市役所9階 第2委員会室
- 3 出席委員 山端委員長、松平委員、尾崎委員、中田委員  
札幌方面苫小牧警察署 水島警部補、竹内警部補
- 4 欠席委員 松村副委員長、渡邊委員、谷澤委員、在家委員、藤委員、向井委員、佐藤委員、柳田委員
- 5 市側出席 畑島市民生活課課長、本田市民生活課課長補佐、伊藤市民生活課主査、福井主査

### 6 次 第

- 1 開会
- 2 市民生活部長挨拶
- 3 山端委員長挨拶
- 4 報告事項
  - (1) 犯罪被害者等支援制度について
    - ・竹内警部補説明
  - (2) 犯罪被害者等支援条例及び検討部会の設置について
  - (3) 検討部会員の選定方法について
    - ・伊藤主査説明

### 5 懇談要旨

#### 【中田委員】

・私は、子供子育て審議会の方の審議委員もしておりまして、子供の育ちと防犯というところが、リンクするところがあるなと思っていたので、このような部会に参加させていただけるということが、とてもありがたく思います。今までかかわった方と知識、経験を生かして参加させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

#### 【松平委員】

・前の部会の時にも話が出てたと思うのだけど、この会のメンバーの人数ありますよね、それに対してここの出席者の人数が、非常に少ないですよねって話をされてました。今回、このメンバー見ても、実際半分の人がいないですよね。そういう中で、果たしてこれで決めちゃっていいのかなと思っています。これから、こういう会議をす

るにあたって、例えば10人で組織したとして、来る人が3人、4人だったって、警察の方はアドバイザーですよ、そういうことからすると、ちょっと人数的に条例制定とかなんだったって言ったって、後で委員会報告して、実際に議案として出すときに、そこらへんで、議員から突っ込まれないのかなと、危惧しているところです。事前に日程調整しているというのは、なかなか面倒で手間がかかるのだけど、人が出られるような環境づくりっていうのかな、そこらへんのことだけ、配慮してもらった方が後々いいのかな、という思いだけです。

#### 【市回答】

・今のご意見、ごもっともなお話なのですね。私どもも開催の日程を調整させていただくときに、いくつか日程の方をお聞かせいただいて、どこかで、出れるところで一番人数の多いところを選んで、実際その時には、半数以上の方が出席という形であったものですから、私どもも案内は出しておりました。ただですね、会議直前になってバタバタバタと急遽欠席という連絡が、立て続けにありまして、正直言うと、私たちの方でもちょっと今日の開催はというところで、そこも迷っていたところがございます。今回委員の、部会の委員の選出ということもあって、ご本人の了承は得ながらやっているところではあるんですけども、次回以降、懇話会の委員の、例えば、推薦を頂ける団体の方にも、常時ご協力いただける方というところで、お声がけをしながら、参加は募りたいと思っておりますので、会則こそ、成立要件とかは載ってはいないですけども、やはり最低でも、半数の委員さんがいらっしゃる、そこにオブザーバーの方は含まず、参加人数としてってところは、最低限、今後僕らの方も開催の日時は、改めて調整させていただきたいと思っておりますので、いただいた意見はその通り受け止めさせていただきたいと思っております。

#### 【委員長】

・我々委員の方も、出席で出した以上は責任をもって、必ず出席できればいいんですけども、多くの方に出席いただいて、多くの意見をいただきたいと思っておりますので、これからも配慮していただけるものと思っております。

#### 【市】

・先ほどのお話ありましたけれども、今回急遽不参加になった委員さんが複数名出たことによりまして、少人数の開催となってしまいました。ここは先ほどもお話したとおり、今後考えていかなければならないと思っておりますので、その点は本日はご了承願えればと思っております。もう一点ですね、これはお知らせという形にな

るのですけれども、4月から苫小牧市の機構改革というのがありまして、今私たち市民生活課ということで、会議の案内など送らせていただいているのですが、4月から私たちの組織が、課の名前が変わりまして、地域活動支援室という名称に変わります。ただしですね、今回の組織名は私たちのやっている業務が、大きく変わるわけではありませぬので、今の担当させていただいている防犯の担当の部署はそのまま残りますし、電話番号もそのまま継続で使うことになっておりますので、基本的には担当の課の名前だけが変わったというふうに思っただけだと思いますが、郵便物のところに、聞いたことのない課名が出てきたときに

**【松平委員】**

・部は変わらないのでしょ。

**【市回答】**

・部も変わらないです。

**【松平委員】**

・部の室になる。

**【市回答】**

・課が室になるという、こういう言い方だけになりますので、原則その組織機構図が、市の都合で変わったと思っただけだと思いますので、そこだけちょっとご理解いただければと思います。

**【委員長】**

・今ご説明のあったように、市民生活課が地域活動支援室と変わると説明いただきました。

**【中田委員】**

・これから春になって、新入学生が、小学生に上がって、保護者の方は不安に思う時期だと思うのですね。声掛け事案とかが増えるのではないかとか、自分の子供が登下校大丈夫かというところで、すごく不安を抱える方が多いと思うのですけれど、この時期特別に、何か防犯対策がされるとか、そういう動きというのがあるかどうか教えていただくことはできますか。

**【水島警部補】**

・特別、以前もその話は、保護者様向けという話は聞いてたのですけれども、警察の方では、特別そういうのはしていなかったところもありまして、ただ、いつも毎年小学校に行って、教育委員会の方から防犯の指導をして欲しいと言われておりました。

て、おそらく今年も話が来るといふ形になっているので、4月以降教育委員会の方から通知が来れば、対応したいなというふうには考えております。あと、登下校のパトロールについても、担当するのが交番の方で、4月のお話であれば、1年生で不慣れなところもあるので、そのへんは強めにしていきたいということは、考えております。

**【市回答】**

- ・防犯とは連動した形にはなるのですけれども、特に新入学生が登下校を1人で行うということもあるので、防犯というよりは、交通安全の観点で、私たちもそういったところの各種団体とかの声掛けとかですね、いろいろ朝とか登下校の見守りというところは、協力はさせていただいておりますので、パトロールプラスアルファで、地域の目で見守っていくということはやっておりますので、特に集中的ということになると、警察さんの方でもやっている、季節ごとの春、夏、秋、冬の強化月間とかと合わせた取り組みというのもあって、その中で新入学時の月間であるとか、春であると、行楽期のってことで、ゴールデンウィークくらいの活動とか、交通安全の方でも取り組んでいるものがありますので、そういったところの計画とあわせながら、連動して取り組んでいこうとは思っております。

**【尾崎委員】**

- ・市の方にお願ひがあるのですけれども、防犯ブザーと家庭用の窓に付ける防犯ブザーがあるのですけれども、割ったらすぐわかるやつなのですけれども、補助金みたいなを出してくれないのかなと思ったのですけれども。

**【市回答】**

- ・いろいろ防犯グッズというのでしょうかね、今はグッズのうちの一つだと思うのですけれども、いろいろなところでそういった商品が出ている中で、補助金というのが、補助制度はいろんなところでいろんな補助制度が欲しいというのが、こういった分野に限らず話が上がっていて、なかなか新しい制度というところで、直ちにできるというのは難しいということがあるので、今いただいた意見というのは、今後の参考にさせていただいて、計画内でも新たな取り組みがあればと明示しておきますので、参考の意見としてとらえさせていただければと思うのですが、ただ、直ちに導入できますよというところは、ここでは申し上げられないので、そこだけはご理解いただければと思います。